

| 教科等 | 授業改善の視点 | 児童の学習状況 | 改善の計画と評価の方法 |
|-----|--|--|--|
| 国語 | ① 言葉の特徴や使い方等の基礎的・基本的内容の定着に主体的に取り組めるような授業内容・方法の工夫 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② デジタルを活用し、一人一人の主体的な学びにつながる支援の充実 【ICT 機器の活用】 | ① 全国学力調査では「書くこと」「読むこと」領域で都の平均より正答率が高く、記述式の問題も正答が高い傾向が見られた。一方で、「知識・技能」の中で「情報の扱い方に関する事項」や「我が国の言語文化に関する事項」で正答率が下がる傾向があり、言葉の意味を的確に捉え要点を伝えることに課題がある。 ② 児童アンケート項目「すすんで学習している」に対して、肯定的な回答をした児童の割合が87.3%だった。デジタルを活用し、学習計画や1時間の学習の進め方を提示する学習形態により、自分で学習を進める意識が定着しつつある。 | ① <u>言葉の意味を調べたり、語彙を増やしたりする学習を計画的に取り入れて、継続的に多くの語彙に触れられる工夫をする。また、記述・表現したものについて振り返り、言葉の使い方を正しいか見直す時間を取り入れることで、基礎的内容の定着を図る。</u> ② <u>学習支援アプリを活用しながら、児童が主体的に学びを進めていくことができるよう単元計画を工夫する。</u> |
| 社会 | ① 学ぶ楽しさを実感できる授業、個に応じた指導の充実 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② ICT 機器を用いた課題把握や課題解決活動の充実 【ICT 機器の活用】 | ① 学習内容に興味・関心をもって取り組んでいる児童が多い。調べたりまとめたりする活動の深まりには個人差が大きい。 ② ICT 機器を通して提示される社会的事象に対して興味をもてる児童が多い。事象を関連付けたり多角的に考えたりする力を伸ばすことが課題である。 | ① <u>時事的な話題を生活と結び付けたり、過去の歴史と現在の状況の関連に注目したりすることで、学習への意欲を高めていく。</u> ② <u>課題解決学習の、課題把握や課題解決のためのデータ資料を送ったり、学習のまとめや振り返りに活用したりして個々の学習を充実させる。</u> |
| 算数 | ① 「問題発見」「自力解決」「集団検討」「統合的・発展的な考え方」の学習過程を主体的に取り組めるような授業形態・内容・方法の工夫 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② ICT 機器を用いた課題把握と振り返りの充実 【ICT 機器の活用】 | ① 児童アンケート項目「すすんで学習している」に対して、91.2%の児童が肯定的な回答をしている。自力解決に向けて意欲的に取り組んでいる様子である ② 学習支援アプリを使って授業の終わりに振り返りをする。授業の初めに既習内容（前日の学習支援アプリの振り返りを見るなど）を踏まえて学習に取り組めるようにしていた。 | ① <u>今後は集団検討場面で学習集団同士の考えを共有し、問題解決の方法について学び合う機会を充実させることで、児童の意欲喚起につなげる。</u> ② <u>授業の導入時、問題や課題を提示する際には、具体的な場面を提示、例示し、問題場面を想起させやすいような学習内容の工夫をする。</u> |
| 理科 | ① 問題解決の過程を通して、理科的な資質・能力の習得 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② ICT 機器を用いた課題把握と振り返りの充実 【ICT 機器の活用】 | ① 初めて行う実験に対して、安全面での注意点を守り意欲的に取り組むことができた。一方で、積極的に実験に関わろうとする児童に依存する児童も複数名いた。 ② 考察をノート等には書けているが、積極的に発言したり他の児童と共有したりしようとする児童が少ない。考えを深めるために児童同士の対話をより活発にできるようにすることが課題である。 | ① <u>実験・観察は班の人数を少なくし、班の中で役割分担して、一人一人の活躍の場が多い授業をする。引き続き、薬品や実験器具の安全な取り扱い方を丁寧に指導する。</u> ② <u>資料の提示、振り返りの記入として ICT 機器を活用する。学習支援アプリを更に活用し、自分の考えを言葉やその他の方法によって表現されたものを共有して対話する。こうした活動によっていろいろな考え方を結び付けられるようにする。</u> |
| 音楽 | ① 学ぶ楽しさを実感できる授業の充実 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② 興味・関心を高め、理解を深めるための ICT 機器の活用 | ① 児童アンケート項目「すすんで学習している」に対して肯定的な回答をした児童の割合が90.3%である。このことから、ほとんどの児童が主体的に授業へ参加していると考えられる。 ② 児童アンケート項目「すすんで学習している」に対して否定的な回答をした児童が7.8%おり、5年生時より1.8ポイント増加している。楽譜から気付いたことと曲想との関わりについて理解 | ① <u>指導内容を焦点化し、相互意見交流や音楽表現を介した交流を通して、音楽表現を深めていく。録音や録画を活用して、演奏を振り返り、次の課題の見直しをもって主体的に活動できるようにする。</u> ② <u>比較関連させる授業で、要素とその働きの視点から分析的に示し、言葉と音をつなげることで考えを広げ、深めていくことがで</u> |

| | | | |
|----------|--|---|---|
| | 【ICT 機器の活用】 | し、自分たちの思いや意図に反映させて表現することに難しさを感じていることが考えられる。既知の要素を意識して、協働的に表現を創意工夫する過程を重視し、手段と結果の関係づけを発揮させながら、技能が高まっていくような支援が必要である。 | きるようにする。ICT 機器を活用し、思いや意図を視覚化できる教材教具を用いる。ワークシート等を活用することで、自分の考えを省察したり、自身の学習を評価したりして、自分自身で課題を選択、設定できるようにし、主体性をもって技能の習熟を図る。 |
| 図画 工作 | ① 学ぶ楽しさを実感できる授業の充実 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② 振り返り活動の充実 【ICT 機器の活用】 | ① 児童アンケート項目「すすんで学習している」に対し、肯定的な回答をした児童の割合が 92.2%であった。日常の授業の様子から多くの児童が主体的に授業へ参加している。 ② 製作活動中や製作後に互いの作品を鑑賞し合い、よさを見付けたり自分の表現に生かしたりすることについては指導を重点的に行いたい。 | ① <u>引き続き児童が表し方や材料を自ら考えたり決定したりすることができる授業づくりに努め、今後のアンケートでも「すすんで学習している」という質問項目に対して 92%以上の肯定的な回答を得られるようにしていく。</u> ② <u>作品完成後だけでなく、製作活動中であっても互いの作品を鑑賞したり互いに相談し合ったりしながら問題解決ができるように授業を展開していく。また、ICT 機器を使用して作品の共有を行い、学びを深めていけるようにする。題材末の児童の振り返りなどから授業者の授業改善を振り返る。</u> |
| 体育 | ① 自己の課題に合わせた体育的活動の充実 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② ICT 機器を用いた課題把握と振り返りの充実 【ICT 機器の活用】 | ① 児童アンケート項目「すすんで学習している」に対し、肯定的な回答をした児童が多くいた一方で、「あまりそう思わない」「そう思わない」の否定的な回答をした児童が 11%ほどいた。進んで学習に取り組めていない児童が若干見られるため、より意欲的に取り組める工夫が必要である。 ② 動きのポイントを理解していても、自己の課題を適切に把握したり、その後の運動に生かしたりすることができていない児童がいるため、自身の実態を把握することが必要である。 | ① <u>運動に苦手意識がある児童も意欲的に取り組むことができるよう、運動領域の中でも取り組みやすい技や動きをはじめに紹介したり、主運動につながる運動に取り組んだりする。また、ボール運動領域等では、ルールを簡易的にしたり柔軟なルールを考案したりして全ての児童が取り組みやすい工夫をする。</u> ② <u>運動のポイントを写真や動画で示すことに加え、ポイントと自己の動きを比較できるように、ICT 機器を活用し自分の動きを撮影して把握できるようにする。また、撮影した映像などを用いてポイントと照らし合わせながら振り返りを行う。</u> |
| 家庭 | ① 考える時間が確保された授業の実施 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② ICT 機器を用いた言語外情報としての視覚教材の活用 【ICT 機器の活用】 | ① 児童アンケート項目「すすんで学習している」に対して、肯定的な回答をしている児童の割合は約 88%だが、約 10%の児童が、否定的な回答であった。調理実習に対して興味・関心が高く、実習後の生活に活かしている児童が多くいる。その反面、実際の生活スタイルと大きく違い、自分の考え・知識に固執して、柔軟に考え直したり、友達と学んだりすることに課題が見られる児童もいる。 ② 調理実習の際、提示した動画を用いて、手順や切り方の確認など活用できている児童が多くいるが、自主的な活用には至っていないため、活用方法を今後も提示し、児童の活用を促していく必要がある。 | ① <u>すすんで取り組んだり、自分で工夫を加えたりしている児童の様子を共有し、全員が「できた」と実感できる個に応じた指導をしていき、9 割以上の肯定的な回答を継続できるようにする。ペアやグループで相談したり、教え合ったりする活動を行い、互いのよさを学ぶ時間をつくる。</u> ② <u>作業の様子を撮影したり、お手本になる画像や動画を繰り返し確認したりするなど、継続して ICT 機器の活用をすすめる。振り返りの蓄積をして、自分の成長を感じ取れるようにする。</u> |
| 外国語 | ① 考える時間が確保された授業の実施 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② ICT 機器を用いた言語外情報としての視覚教材の活用 【ICT 機器の活用】 | ① 児童アンケート項目「すすんで学習している」に対して肯定的な回答をした児童の割合が 88%である。否定的な回答をしている 12%の児童がすすんで取り組むことのできる授業づくりが課題である。 ② 言語材料に慣れ親しむ際に、言語外情報があると集中して学習に取り組むことができる児童が多い。動画や絵、写真など視覚的な補助によって理解を深められる児童が多い。 | ① <u>互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を通して指導を行い、児童がどういう意味なのか、考えながら英語を聞いたり、自分で考えて自分の思いに合わせて英語を発したりする機会を大切に<u>した授業を行う。発話には recast で反応し、自分の英語が「通じた」、言っていることが「分かった」という達成感が得られるように指導する。</u> ② <u>理解促進のため ICT 機器で絵や写真を提示し、児童の興味・関心に合わせて内容を工夫する。また、ICT 機器を活用し、動画教材を使うことで児童が集中して言語材料に慣れ親しみ続け、主体的に言語材料の意味内容を捉えて習得につながれるようにする。</u></u> |

| | | | |
|-----------|--|--|--|
| <p>道徳</p> | <p>① 主体的に自己を見つめ、生活に生かそうとする授業の充実【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】</p> <p>② ICT 機器を用いた、自己の考えを深める授業の充実【ICT 機器の活用】</p> | <p>① 資料から登場人物の気持ちに寄り添ったり場面から様子を想像したりすることはできるが、自己の生活に結び付けて今後に生かそうと考えることが難しい児童が多い。</p> <p>② 自分の考えをもつことに時間を要したり、表現したりすることに難しさを感じている児童が多い。</p> | <p>① <u>授業の導入や教師の説話で児童の身近にある話題や出来事を取り上げ</u>、児童が自己の生活に結び付けて考えやすいように授業を工夫する。</p> <p>② <u>学習支援アプリ等を用いて、書くことに苦手意識がある児童も自分の考えを表現しやすいようにする。</u>また、学習支援アプリを活用して<u>考えを共有する時間を設け</u>、自己の考えを深める機会を増やす。</p> |
|-----------|--|--|--|